



生物多様性くまもとセミナー



[募 集 案 内]

地球上には3,000万種ともいわれる多くの生き物が存在しており、この生き物たちの豊かな個性とつながりのことを「生物多様性」といいます。

私たち人間が生きるために必要な大気や水、暮らしの基礎となる食料などはこの生物多様性がもたらしてくれる恵みです。

生物多様性を護り、豊かな恵みを次世代に引き継いでいくために、私たちにできることは何か、皆さんと一緒に考え、行動していきましょう。

本講座は、生物多様性の最新の動向等を学習するとともに、実際に自然を観察することで生物多様性を身近に考え、感じていただく内容となっております。

1 講座の日程及び内容

	開講日	会場	内容
A	令和2年(2020年)10月24日(土)	熊本県林業研究・研修センター (熊本市中央区黒髪8丁目222-2)	座学
B	令和2年(2020年)11月28日(土)	立田山(熊本市)及び 熊本県林業研究・研修センター	野外実習 及び座学

○受講希望者は、開講日A、Bの中から希望するものを選択してお申込みください。

※複数の受講も可能です。

○詳しい内容は、3ページ「熊本県自然環境講座カリキュラム」をご参照ください。

2 対象者

- ・地域で自然環境保全活動を行っている方
- ・自然環境問題に興味があって今後何らかの活動に取り組みたいと考えている方
- ・事業所において環境分野の地域貢献等を担当される方
- ・環境教育に取り組む教育関係者やNPO関係者など、県民の皆様を広く対象としています。

3 募集締切

講座 A ⇒ 令和2年(2020年)10月14日(水)

講座 B ⇒ 令和2年(2020年)11月18日(水)

4 募集定員

各講座30名程度 ※ただし、開講日ごとに応募者数が募集定員を超える場合は、受講者数を先着順で調整させていただきます。

5 受講申込み方法及び申込先

- ①別紙申込書に必要事項を記入のうえ以下の方法によりお申込みください。
- ②申込み後、自然保護課から受講決定通知を送付します。

郵送：〒862-8570（住所は不要）

熊本県環境生活部環境局自然保護課「自然環境講座係」

ファックス：096-384-5135

電子メール：shizenhogo@pref.kumamoto.lg.jp

- ★熊本県ホームページに掲載されている申込書様式に必要事項をご記入のうえ、上記メールアドレスまでお送りください。
- なお、メールのタイトルは「講座申込み」としてください。

熊本県ホームページURL

<https://www.pref.kumamoto.jp> 自然保護課で検索してください。

※ 『B』の講座は野外実習となります。申込書の内容に基づき傷害保険加入の手続きを行いますので、『B』の講座を申し込まれた方以外の参加は御遠慮ください。

6 主催

熊本県

7 お問い合わせ

熊本県環境生活部
環境局自然保護課

自然環境・公園班 担当：竹下

電話：096-333-2274（ダイヤルイン）

メール：shizenhogo@pref.kumamoto.lg.jp



（昨年度開催のようす）

8 個人情報の取扱い

この講座に関する連絡・通知のほか、自然保護課が主催及び後援する自然保護関係の啓発事業などの御案内に使用させていただくことがあります。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを御持参ください。

また、入場時の検温、消毒液の設置、受講中の換気を行いながら実施します。
なお、感染の状況により開催を中止する場合があります。

【令和2年度(2020年度) 熊本県自然環境講座カリキュラム】

開講日	時間	テーマ	内容	講師	会場
A 令和2年(2020年) 10月24日 (土曜日)	講座1 13:30～ 15:00 (90分)	熊本の陸水域の プラスチック汚染	熊本県内の陸水域プラスチック問題や、 環境影響問題、生態系への影響について学び ます。	中田 晴彦 氏 (熊本大学大学院 先端科学研究所)	熊本県林業研 究・研修センター
	講座2 15:10～ 16:40 (90分)	熊本の火山と環境	熊本県内の火山や、火山活動が地球環境に与 える影響などについて学び、地球科学と私たち の暮らしとの関わりについて考えます。	池辺 伸一郎 氏 (阿蘇火山博物館 館長)	
B 令和2年(2020年) 11月28日 (土曜日)	講座3 13:30～ 16:30 (180分)	立田山での野鳥観察	自然豊かな立田山にて、野鳥及び県内の野鳥 に現状について学び、生物多様性を考えます。 県立自然公園である立田山にて野鳥の観察を します。	原口 研治 氏 (日本野鳥の会)	立田山(熊本市) 熊本県林業研 究・研修センター